

製品名: HSD17B1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87342**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:35 kDa; Observed MW:35 kDa

抗原情報

遺伝子名	HSD17B1
別名	E2DH; HSD17; EDHB17; EDH17B2; SDR28C1; 17-beta-HSD; 20-alpha-HSD
遺伝子 ID	3292
SwissProt ID	P14061
免疫原	ヒト HSD17B1 の合成ペプチド

背景

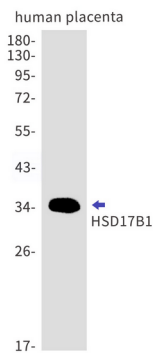
この遺伝子は、短鎖脱水素酵素 / 還元酵素である 17β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素ファミリーに属する酵素をコードする。エス

トロゲン活性化とアンドロゲン不活性化という二重の機能を有し、血清と末梢組織間のエストロゲン E2 濃度勾配の形成に重要な役割を果たす。コードされているタンパク質は、NADPH を用いてエストロゲン E1 および E2、ならびに 4-アンドロステンジオンなどのアンドロゲンをテストステロンに変換する、エストロゲン活性化の最終段階を触媒する。この遺伝子は、補因子結合部位を有する N 末端短鎖脱水素酵素ドメインと、ステロイド基質結合部位を有する狭い疎水性 C 末端ドメインを有する。この遺伝子は、主に胎盤および卵巣顆粒膜細胞で発現し、子宮内膜、脂肪組織、および前立腺でも発現する。この遺伝子の多型は、乳がんおよび前立腺がんとの関連が報告されている。この遺伝子の偽遺伝子が同定されている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物変異体が生じる。[RefSeq 提供、2016 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



HSD17B1 抗体 (1:1000 希釈) を使用したヒト胎盤細胞溶解物中の HSD17B1 のウエスタンブロット検出。